

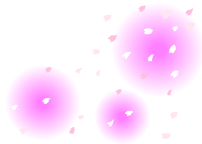
空室解消 ニュース レター Vol. 14

Contents

3月号

- リモデル事業部長 本間達司のコラム
— 「春の足音」 —
- 今月の BEFORE→AFTER
— 「新神戸プロジェクト」 —
- 技建社員のオススメ本
— 「アイデアのつくり方」 —
- 心に響いたこの言葉
— 「本気は能力を超える！」 —

春の足音



3月も中旬を過ぎ、春の足音も聞こえてくる今日このごろ、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。

春は新入学、新年度、新生活と人生の節目を迎えられる方もたくさんいらっしゃると思います。

私共のリモデル事業もこの春、新しい節目を迎えそうな予感がしています。

そうです。1月号でもご紹介させていただきました**大阪産業創造館で主催された事業コンペ「ビジネスプラン鑑定団」の最終結果発表があったのです。**

少し振り返ってお話すると、去る2月25日、大学教授やベンチャーキャピタルの方々が務める総合鑑定委員9名と関係者の方々計20名の前で最終プレゼンテーションを行いました。発表時間は12分、質疑応答13分と少々短めではありましたが、持てる力を精一杯ぶつけてみました。



当日は質問もたくさん頂き、手応えは上々。人事を尽くして天命を待つといった心境で待つこと1週間、結果連絡は電話で頂きました。**総合鑑定の結果、何と「A」認定を頂きました。**

実は、「A」認定といいましても、その上に「AA」認定があり、「AA」認定が1社、「A」認定が3社の合計4社が認定を受けたのです。

認定を受けたこの4社だけの特典としてベンチャー支援ネットワーク（金融機関やベンチャーキャピタル等、約30社）の方々に自社の事業をプレゼンするチャンスを頂き、先日、発表を済ませて来ました。発表後、交流会を開いて頂きたくさんの金融機関の方と名刺交換しその日は終了。



と、思いきや社に戻ると、さるベンチャーキャピタルの担当者からメールを頂き、**「御社の事業にたいへん興味があるのでお会いしてもう少し詳しく話を聞きたい」**とのこと、翌日は別のベンチャーキャピタルの方から同様の電話を頂き、新しい節目を迎えそうな「予感」が「兆候」に変わっています。実は、ここ2週間で6社のベンチャーキャピタルの方とお会いし好意的なお話をいくつか頂戴しています。

今すぐに、というわけではありませんが、**新たな形で大きな1歩を踏み出す可能性が高くなってきました。**でも、1月号でお約束した大きな目的は決して忘れずに歩んで（走って？）行きたいと思います。今後共、ご指導頂けますようお願い申し上げます。（本間）



A認定の認定書です

表彰式

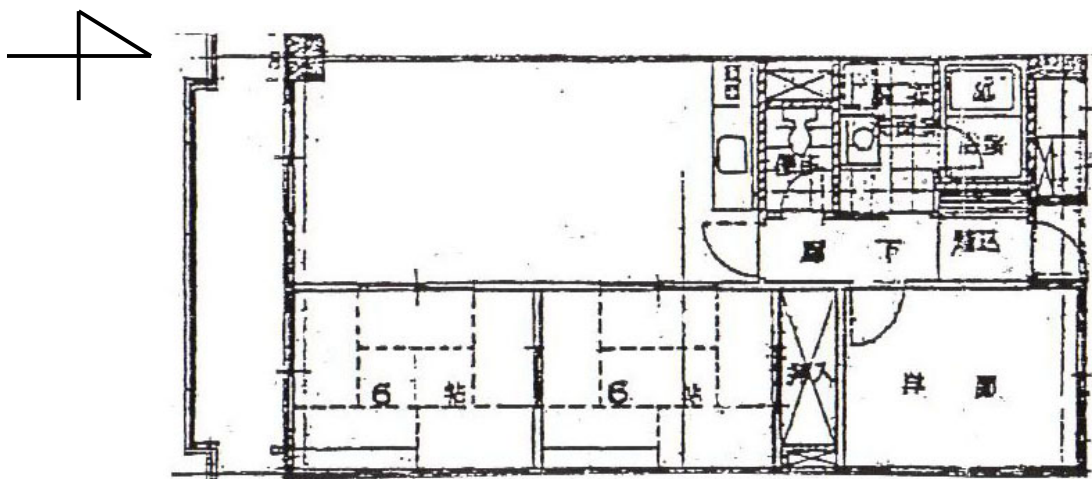
左：大阪産業創造館 鳥岩専務理事
右：技建設計代表取締役 本間

今月のBEFORE→AFTER

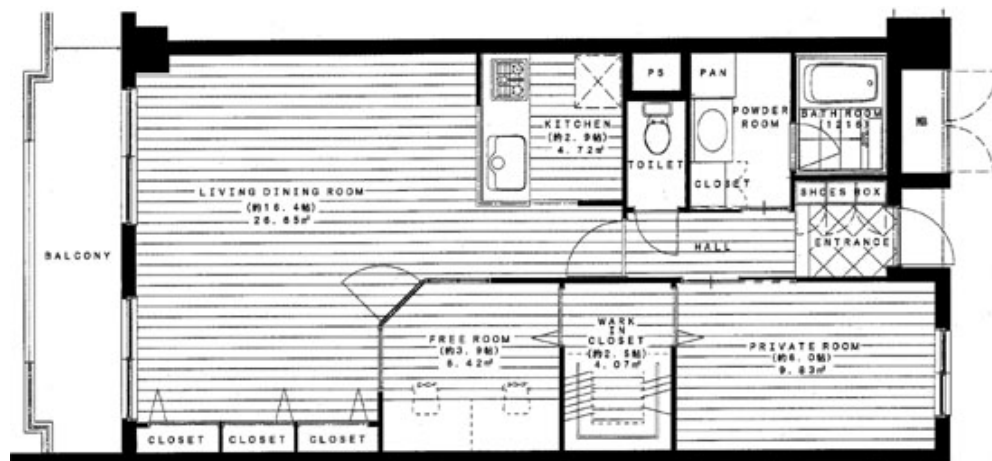
今月ご紹介するのは『神戸市新神戸プロジェクト』（築約20年）です。

縦長の3LDKだった間取りを1LDKに、さらにパソコンスペースやウォークインクローゼットを盛り込み2LDKに変更したプランです。

専有面積66.43㎡と縦長に空間が広がる間取りです。
小さな面積の部屋が3つあるので、部屋全体が暗く、LDKは縦長で現在の賃貸入居者は使いづらく感じられるものです。



腰窓で緩やかに空間を仕切った小部屋が特徴です。
パソコンを置いてインターネットを楽しんだり、仕事を持ち帰ってできます。また、LDKはゆったり約20帖です。



技建社員のオススメ本（リ・モデル事業部 岡崎）



【 アイデアのつくり方 】

ジェームス・W・ヤング著 TBSブリタニカ 777 円

「60 分で読めるけれど一生あなたを離さない本」

突然で失礼しました。この一文は、私が今からご紹介する本を買うきっかけになったキャッチコピーです。

半年ほど前、私は本の帯に書かれていたキャッチコピーに惹かれてこの本を買いました。

この本では、**【アイデアをどうやって手に入れるか】という質問への解答が 10 章 55 ページで語られています。**

本当に 60 分以内で読めます。しかし、短時間でアイデアを創出する方法は手に入れることができます。

少しご紹介しましょう。

著者は、アイデアの作成という心の技術をはたらかせるためには、5 つの段階を一定の順序で踏むことが大切だと言っています。

第 1 段階…資料を収集する段階。（対象物に関する特殊資料と一般的資料）

第 2 段階…集めた資料を咀嚼する段階。（資料を持って様々なアイデアを練る）

第 3 段階…消化段階。（問題を全く放棄、感情を刺激するものに心に移す）

第 4 段階…アイデアの実際上の誕生の段階。

第 5 段階…アイデアを具体化し、展開させる段階。

この他、創造的な仕事をされている人の小話や特徴などもポイントを押さえ述べられています。

川喜田二郎さんという方が「発想法」という著書の中で書いていた事とも多く重なる点があり、**アイデア創出の王道の手法が述べられている**のであらうとは思いますが、何よりも簡潔で必要十分な事だけが述べられています。

アイデア作成でお悩みの方は一度読んで是非実行してみてはいかがでしょうか。

心に響いたこの言葉



【 本気は能力を超える！ 】

これは、私の当事業部の事業計画や様々な業務の実行にあたって経営コンサルティングをして頂いている〇先生の言葉です。

幕末維新の時代、倒幕へ向かう船をを動かせる者がいない中、一度も船の操縦をしたことのない武士が船を動かし幕府へ向かった話によるもので、**【本気で直面する課題に取り組めば、周りから受けている評価や自分が思い込んでいる自身の能力を超えたものを発揮したりするものだ】** という意味です。

【火事場の馬鹿力】 という言葉もあるように、緊急事態に直面した時の人間の出す力は想像を越えるものがあります。私達はこの現代に生まれてそこまで追い詰められている者の気持ちなど理解できないとは思いますが、この言葉はもっと広い意味で使っても良いのかもしれないと思いました。

それは、**【本気とは好きであること。真剣に楽しんで取り組むことであること】** であるという意味です。

ことわざの**【好きこそものの上手なれ】**とは良く言ったもので、社会に出て約 1 年経った今、たくさんの社会の先輩にお会いして思うのは**「仕事が好きな人は仕事ができる」**ということです。

〇先生曰く、本気で仕事に取り組む人は成功しているそうです。

以前、雑誌のコラムでも同じような記事を見つけました。

「商品を実際に好きであると、好きというその思いは伝染する。それは、セールの基本なのではないだろうか。」

このような記事の内容であったと思います。

日々の仕事のひとつひとつに反映させたい言葉に出会いました。(岡崎)

「空室解消ニュースレター」編集部

株式会社 技建設計

〒550-0012 大阪市西区立売堀 1 丁目 6 番 8 号

TEL 06-6533-5167(代) FAX 06-6533-5140

URL:<http://www.giken-net.jp> MAIL:remodel@giken-net.jp

発行人 本間・岡崎

発行日 平成 16 年 3 月 25 日

当社モデルルームは随時見学可能となっております。見学をご希望の方はリモデル事業部までご連絡下さい。

Copyright (c) 2004 (株)技建設計 all rights reserved.